

ベンダテスト実施概要

国民健康保険中央会
保健事業部保健情報管理課

目 次

1. ベンダテストとは	2
2. ベンダテスト実施時期	3
3. 本番環境における各チェックの流れ	4
4. ベンダテストの実施範囲	5
5. テストデータの作成方法	6
6. 特定健診テストデータ作成方法	7
7. 保健指導テストデータ作成方法	11
8. テストデータ作成における留意事項	12
9. テスト依頼に関する留意事項	16
10. ベンダテスト依頼方法	17
11. ベンダテスト関連問い合わせ方法	19
12. ベンダテストの返却	20

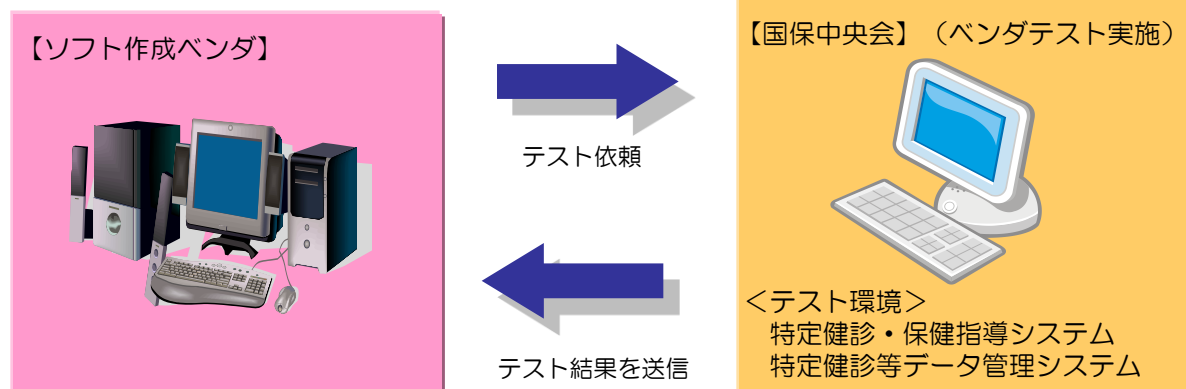
1. ベンダテストとは

ベンダテストとは、「特定健診・保健指導」結果の請求データ(XMLデータ)が、「特定健診・保健指導システム」及び「特定健診等データ管理システム」で正常に受け付けられることを確認するためのテストである。

【ベンダテスト環境】

国保中央会のテスト環境を使用して、ベンダから受領したテストデータ(XMLデータ)が正常に受け付けられることを確認する。

【ベンダテスト】

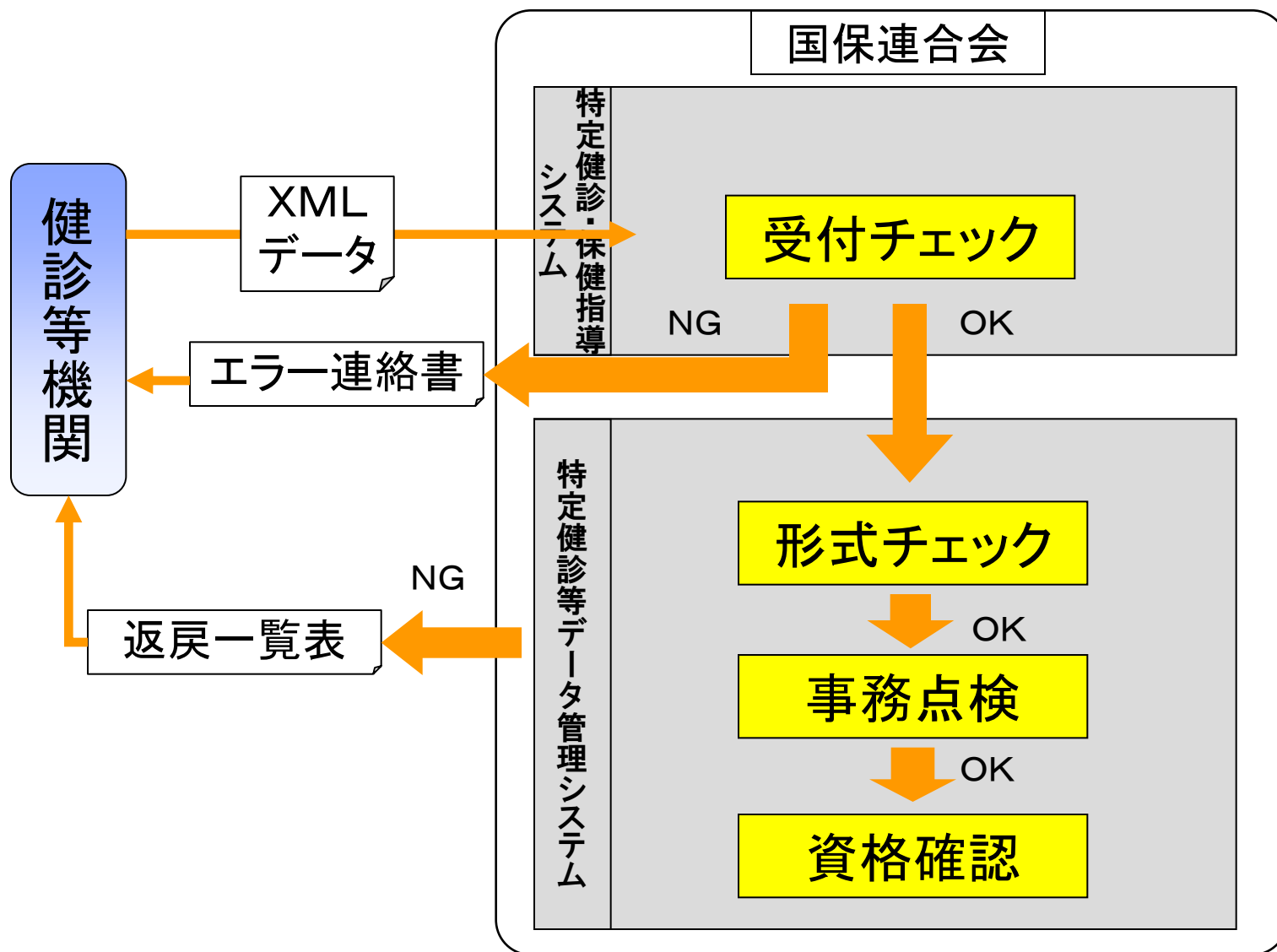


2. ベンダテスト実施時期

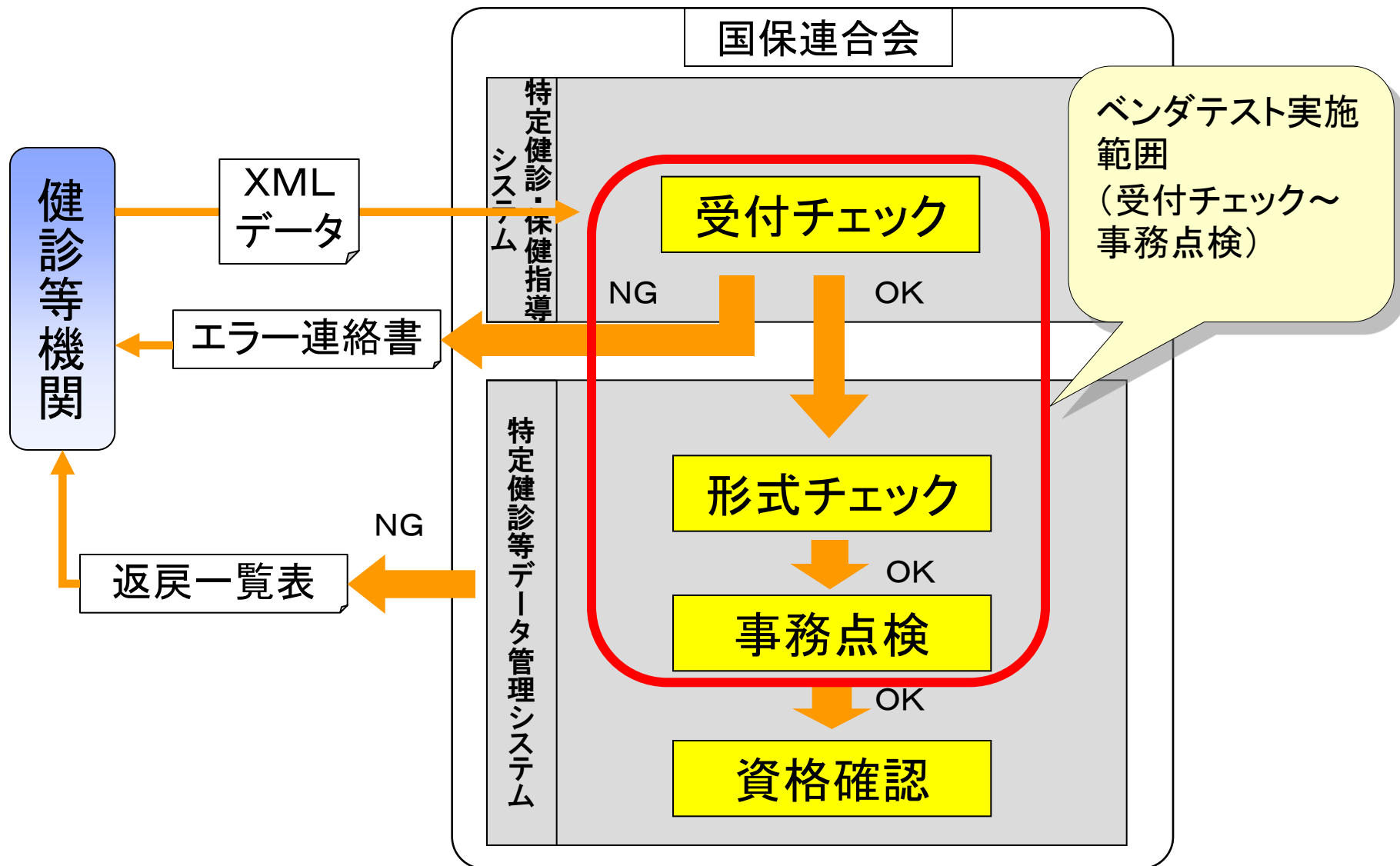
平成30年3月12日から「第三期特定健康診査等実施計画期間」に対応した特定健診・保健指導データに関するベンダテストを実施する。

これに伴い、従来のベンダテスト（「第二期特定健康診査等実施計画期間」に対応）は、平成30年2月28日（水）受付分をもって終了する。

3. 本番環境における各チェックの流れ



4. ベンダテストの実施範囲



5. テストデータ作成方法

特定健診のテストデータは、

- ・別紙1「特定健診のXMLデータ作成要領・依頼書」の「データ作成要領シート」を参照し作成すること。

保健指導のテストデータは、

- ・別紙2「保健指導のXMLデータ作成要領・依頼書」の「データ作成要領シート」を参照し作成すること。

注)テストデータを作成するに当たって作成要領に記載されていない入力値等は、本会HP「システム情報」－「特定健診等データ管理システム」における、「特定健診・保健指導システムの受付チェック仕様」を参照の上、任意に設定すること。

6. 特定健診テストデータ作成方法(1/4)

①データパターンを選択する。

別紙1「特定健診のXMLデータ作成要領・依頼書」の「データパターンシート」を参照し、以下のパターンを選択する。

「データパターンシート」

特定健診データパターンは以下の5パターンがある。

No.	パターンID	データパターン(請求区分)
1	け - 01	基本健診
2	け - 02	基本健診 + 詳細健診
3	け - 03	基本健診 + 追加健診
4	け - 04	基本健診 + 詳細健診 + 追加健診
5	け - 05	人間ドック

6. 特定健診テストデータ作成方法(2/4)

以下のようにデータパターンを選択する。

支払代行機関番号	92699024
支払代行機関名	X M L 連合会

データパターンシート

項番	パターン I D	保険者番号	保険者名	健診種別 (委託料 単価)	受診券番号	受診券交付 年月日	受診券 有効期限	被保記号	被保番号	作成データ
1	けー 0 1	00261101	XML保険者1	個別健診/ 集団健診	18500000001	2018/4/1	2019/3/31	か 0 1	2 1	...
2	けー 0 2	00261200	XML保険者2		18500000002	2018/4/1	2019/3/31	か 0 2	2 2	
3	けー 0 3	00261309	XML保険者3		18500000003	2018/4/1	2019/3/31	か 0 3	2 3	
4	けー 0 4	00261309	XML保険者3		18500000004	2018/4/1	2019/3/31	か 0 4	2 4	
5	けー 0 5	00261408	XML保険者4		18100000001	2018/4/1	2019/3/31	か 0 5	2 5	

選択したデータには「作成データ」セルに○を記入

6. 特定健診テストデータ作成方法(3/4)

②選択したパターンIDに設定されている各種情報をもとにテストデータを作成する。

支払代行機関番号	92699024
支払代行機関名	X M L 連合会

データパターンシート

項番	パターンID	保険者番号	保険者名	健診種別 (委託料 単価)	受診券番号	受診券交付 年月日	受診券 有効期限	被保記号	被保番号
1	けー01	00261101	XML保険者1	個別健診/ 集団健診	18500000001	2018/4/1	2019/3/31	か01	21
2	けー02	00261200	XML保険者2		18500000002	2018/4/1	2019/3/31	か02	22
3	けー03	00261309	XML保険者3		18500000003	2018/4/1	2019/3/31	か03	23
4	けー04	00261309	XML保険者3		18500000004	2018/4/1	2019/3/31	か04	24
5	けー05	00261408	XML保険者4		18100000001	2018/4/1	2019/3/31	か05	25

保険者番号
保険者名
受診券番号
...

6. 特定健診テストデータ作成方法(4/4)

- ③選択したパターンID行の受診券番号に対応する受診者情報を「受診者情報シート」から取得する。

受診券番号	被保険者証記号	被保険者証番号	受診者性別	受診者郵便番号	受診者住所	受診者氏名	
						性	名
18500000001	か01	21	男	100-1001	京都府 京都市 健診区 区分町1 区分1マンション 1	制度	後
18500000002	か02	22	男	200-2002	京都府 京都市 健診区 区分町2 区分2マンション 2	制度	後
18500000003	か03	23	男	300-3003	京都府 京都市 健診区 区分町3 区分3マンション 3	制度	後
18500000004	か04	24	男	200-2002	京都府 京都市 健診区 区分町2 区分2マンション 4	制度	後
18100000001	か05	25	男	200-2002	京都府 京都市 健診区 区分町2 区分2マンション 5	制度	後

...

- ④ ①～③で取得した値をもとにXMLテストデータを作成する。

7. 保健指導テストデータ作成方法

別紙2「保健指導のXMLデータ作成要領・依頼書」の「データパターン」シートを参照し、特定健診同様、以下のパターンを選択する。

「データパターン」シート

保健指導データパターンは以下の5パターンがある。

No.	パターンID	データパターン(請求方法)
1	ほ - 01	初回①と初回②を別々に請求 + 実績評価
2	ほ - 02	初回①と初回②をまとめて請求 + 実績評価
3	ほ - 03	初回①(初回未完了)
4	ほ - 04	初回①請求 + 初回未完了
5	ほ - 05	初回面接 + 実績評価(動機付け支援相当)

以降は、特定健診のデータ作成と同じ要領で
別紙2「保健指導のXMLデータ作成要領・依頼書」を参照し作成する。

8. テストデータ作成における留意事項(1/4)

＜特定健診＞

- ① 「検査問診セクション」に「随時血糖」を入力する場合は、空腹時血糖、HbA1cは未実施とすること。
- ② 「検査問診セクション」に以下の項目を入力する場合は、値を「1」とする。
 - ・心電図検査(対象者)
 - ・眼底検査(対象者)
 - ・クレアチニン検査(対象者)
- ③ 「検査問診セクション」に以下の項目を入力する場合は、いずれか1つのみ入力する。
 - ・血清クレアチニン(可視吸光光度法(酵素法))
 - ・血清クレアチニン(その他)
- ④ 「任意追加項目セクション」に以下の項目を入力する場合は、値を「0」とする。
 - ・心電図検査(対象者)
 - ・眼底検査(対象者)
 - ・クレアチニン検査(対象者)

8. テストデータ作成における留意事項(2/4)

- ⑤ 「任意追加項目セクション」に、貧血検査(実施理由)の入力は不可とする。
- ⑥ 「検査問診セクション」に入力した項目については、「任意追加項目セクション」への入力は不可とする。

8. テストデータ作成における留意事項(3/4)

- ⑦ 第三期特定健康診査等項目において、以下の検査項目に関し入力最小値、最大値が設定された。この範囲を超えた値を入力する場合は、入力範囲外の表示であるH/Lを、測定値と合わせて入力すること。

	項目名	入力最小値・最大値の範囲
1	non-HDLコレステロール	20～1000
2	LDLコレステロール（計算法）	20～1000
3	血清クレアチニン（可視吸光光度法（酵素法））	0.10～20.00
4	血清クレアチニン（その他）	0.10～20.00
5	eGFR	1.0～500.0
6	随時血糖（電位差法（ブドウ糖酸化酵素電極法））	20～1000
7	随時血糖（可視吸光光度法（ブドウ糖酸化酵素法））	20～1000
8	随時血糖（紫外吸光光度法（ヘキソキナーゼ法、グルコキナーゼ法、ブドウ糖脱水素酵素法）	20～1000
9	随時血糖（その他）	20～1000

- ⑧ 「請求区分」に「詳細健診」、「追加健診」が含まれるデータパターンをテストする場合、各健診項目ごとの単価は、「詳細健診シート」、「追加健診シート」を参照すること。

8. テストデータ作成における留意事項(4/4)

＜保健指導＞

- ① 初回面接分割なしの積極的支援と動機付け支援については、第三期特定健康診査等対応では大きな変更点がないため、データパターンとして含めない。
- ② 「指導初回①情報セクション」の「初回面接による支援の支援形態」には、「3:電話」、「4:電子メール支援」の入力は不可とする。
- ③ 動機付け支援相当は、初回面接当日実施ができないため、初回面接を分割したデータパターンは用意しない。
- ④ 初回面接を分割しての請求は国保独自仕様となり、集合契約の場合は、初回面接を分割して請求することはできない。

9. テスト依頼に関する留意事項

- ① テスト結果が返却されるまで、追加で新たなテスト依頼を受け付けることはできない。(ただし、特定健診と保健指導の同時依頼は可)
- ② 1回の申込可能なデータパターン数は、特定健診で2パターン、保健指導で2パターンとする。
- ③ 依頼書の記入事項に漏れがある場合は、ベンダテストを実施できない。
- ④ テストを一度通過した場合、同じデータパターンのテスト依頼は受け付けない。
- ⑤ 本テストはシナリオ(データパターン)を利用したものであるため、実際の保険者と健診等機関における契約内容等を反映したものではない。

10. ベンダテスト依頼方法(1/2)

以下の手順で国保中央会へ依頼する。

①ベンダテスト依頼書を作成する。

別紙1「特定健診のXMLデータ作成要領・依頼書」の「依頼書シート」を記入する。（「記載例シート」を参照）

国民健康保険中央会 特定健康診査等ベンダテスト依頼書（記載例）				
ベンダ記入欄			申込日：平成30年 月 日	
項番	項目	申込内容	備考	
1	貴社名	国保中央会		
2	部署名	保健事業部		
3	ご担当者氏名	国保太郎		
4	所在地	東京都千代田区永田町1-11-35		
5	連絡先電話番号	03-3333-1111	テストに関連して連絡先となる電話番号を記載する	
6	連絡先メールアドレス	v-test@kokuho.or.jp	当アドレス宛てにテスト結果・連絡事項等をすべて送付する	
7	貴社提供のパッケージソフト名称	健診請求ソフト	提供しているソフトがない場合は、「ー」を記入する	
8	送付ファイル名	2610000101_92699024_201204180_1.zip	ファイル命名規則に準じた正しい送信ファイル名を記入する	

提供しているソフトが複数ある場合には、複数記入すること。

中央会記入欄				
項番	項目	受付内容	備考	
1	受付日	年 月 日		
2	テスト実施日	年 月 日		
3	回答日	年 月 日		

10. ベンダテスト依頼方法(2/2)

②依頼方法

記入及び作成済みの以下のファイルをベンダテスト申込用E-mailアドレス(v-test@kokuho.or.jp)宛てに送信する。

※依頼を受け付けた際は、本会から受領メールを送信する。

【必要ファイル】

- ・特定健診(保健指導)のXMLデータ作成要領・依頼書
依頼書シート及びデータパターンシートの作成データに「○」を記入済のもの
- ・テストデータ(XMLデータ)

11. ベンダテスト関連問合せ方法

以下の手順で国保中央会へ連絡する。

①問合せ方法

ベンダテストに係る問合せをする場合は、ベンダテスト申込用E-mailアドレス(v-test@kokuho.or.jp)宛てに問合せ事項を送信する。

②問合せの際のメール件名

問合せをする場合は、メール件名の先頭に【問合せ】を付与する。

件名記載例：【問合せ】テストデータの作成について

注) 上記以外での問い合わせは対応できません。

12. ベンダテスト結果の返却

ベンダテスト結果の返却期間は、テスト依頼を受付後、7～10業務日程度。

①返却方法

結果記入済みの以下のファイルを依頼書に記載のE-mailアドレス宛てに送信する。

【返却ファイル】

- ・特定健診(保健指導)のXMLデータ作成要領・依頼書
「依頼書シート」及び「データパターンシート」にテスト結果を記入済みのもの。
エラーの場合は所見欄にエラー情報を記入。
- ・エラー連絡書(エラーの場合のみ)